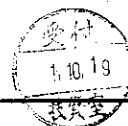
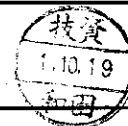


E-ST180・181・182・183系



T店

標 題

 トヨタ カリーナEDの新車点検・定期点検についてのお知らせ


トヨタ カリーナEDのモデルチェンジに伴い、新車点検および定期点検に関する点検項目と整備基準値をお知らせします。

なお、本整備編に記載されていない項目については下記資料を参照してください。

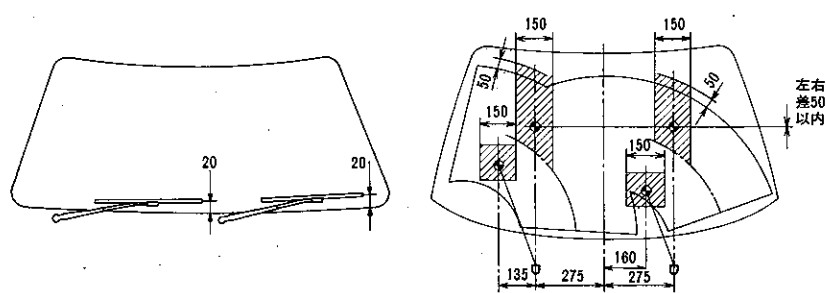
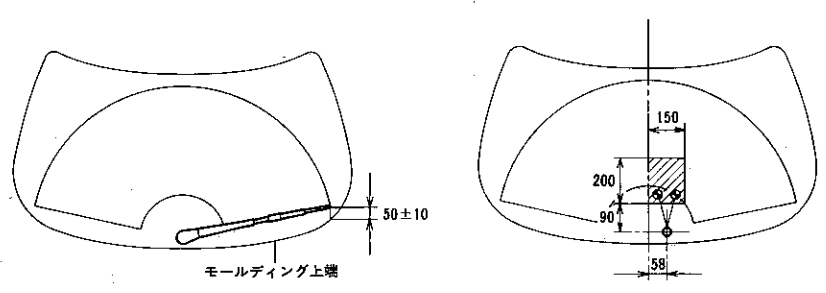
整備関係資料

資 料 名	品 番	発 行 年 月
トヨタ新車点検作業要領説明書	—	1984年10月
トヨタ定期点検作業要領説明書	68550	1983年 7 月
技術連絡書修理編 新定期点検整備方式について	総括4032	1984年12月
トヨタ カリーナED修理書	62315	1989年 9 月

目 次

1	新車点検整備基準値	2 / 7
2	各部油脂・冷却水と容量	3 / 7
3	定期点検整備基準値	4 / 7
4	定期点検作業要領	7 / 7

1 新車点検整備基準値

点 検 箇 所		基 準 値			
ブ レ ー キ フ ル ー ド 量		MAXラインとMINラインの間にあること			
ク ラ ッ チ フ ル ー ド 量		MAXラインとMINラインの間にあること			
ア イ ド ル 回 転 (r.p.m)		エンジン型式 トランス ミッション型式	4S-Fi	3S-FE	3S-GE
		M/T	600～700	650～750	750～850
		A/T	700～800		
ワイパー停止位置 ウォッシャー噴射位置 (mm) ※ウォッシャー噴射位置はアイドル回 転で斜線内に入っていること。		フ ロ ン ト ウ イ ン ド ウ			
					
		H0781 H6752			
		バ ッ ク ウ イ ン ド ウ			
					
ブレーキ ペダル		高 さ (mm)		157～167 (M/T) 159.4～169.4 (A/T) (フロアパネル上面より)	
		遊 び (mm)		3～6	
		踏み残りしろ (mm) 〔踏力50kgアイドル状態〕		80以上 (フロアパネル上面より)	
パーキングブレーキレバー 引きしろ (操作力20kg)		4～7ノッチ			
オートドアロック速度		20～26km/h			

2 各部油脂・冷却水と容量

項 目		容 量(ℓ)			指 定 油 脂
油 脂 名	エ ン ジ ン トランスミッション 型 式	オイルのみ 交 換 時	オイルとオ イルフィル ター交換時	全 容 量	
エンジンオイル	4S-Fi	3.7	4.1	4.5	キャッスル・クリーンSG (SG) キャッスル・クリーンエクセレント (SF) キャッスル・クリーンロイヤルII (SE) キャッスル・クリーンスーパー (SD)
	3S-FE	3.7	4.1	4.5	
	3S-GE	3.6	3.9	4.3	
冷 却 水	4S-Fi	6.2(M/T) 6.6(A/T)			LLC (キャッスル・ロングライフクーラント) 凍結保証温度 30%.....-12℃ 50%.....-35℃
	3S-FE	6.2(M/T) 6.6(A/T)			
	3S-GE	6.0(M/T) 6.5(A/T)			
マニュアルトランス アクスルオイル (含むデフアレンシャル)	S50	2.6			キャッスル・オートフルードD-II
	S52	2.6			
	S53	2.6			
オートマチックトラ ンスアクスルオイル ()内はデフアレンシャル	A140L	5.6(1.6)			キャッスル・オートフルードD-II
	A140E	5.6(1.6)			
パワーステアリング	ポンプ交換時	0.35			キャッスル・パワーステアリングフルード
	総 容 量	0.8			
リヤステアリングギヤハウジング		—			キャッスル・シャシーグリーススペシャル
ク ラ ッ チ フ ル ー ド		—			トヨタブレーキフルード2500H
ブ レ ー キ フ ル ー ド		—			

3 定期点検整備基準値

エンジン関係

エンジン型式			4S-Fi	3S-FE	3S-GE
項目					
Vリブドベルト たわみ量 〔押力10kg〕(mm) ()内は張力(kg)	オルタネーターベルト	A/Cなし	13～17 (30～45)	←	12～18 (36～62)
		A/Cあり	9～11 (45～55)	←	12.5～15 (30～45)
	P / S ベルト		10～13 (20～35)	←	←
バッテリー液比重〔液温20℃〕			1.25～1.27	←	←
点火時期 (° BTDC/rpm)	サブ進角なし〔T端子短絡〕		8～12/600～700(M/T) 8～12/700～800(A/T)	8～12/650～750	8～12
	サブ進角あり〔T端子開放〕		16～23/600～700(M/T) 16～23/700～800(A/T)	10～20/650～750	9～23/750～850
アイドル回転数 (rpm)	M/T		600 700	無調整式 (650～750)	← (750～850)
	A/T (Nレンジ)		700～800		
アイドルCO濃度 (%)			1.0以下	←	←
アイドルHC濃度 (ppm)			800以下	←	←
アイドルバキューム (－mmHg)			460以上	←	400以上
バルブクリアランス 〔冷間時〕 (mm)	I N	0.24±0.05	←	0.20±0.05	
	E X	0.33±0.05	←	0.25±0.05	
圧縮圧力〔250rpm時〕 (kg/cm²)	基準値		12.5	←	13.0
	限度		10.0	←	11.0
	気筒差		1.0	←	←
スパークプラグギャップ (mm)			1.0～1.3	←	※1 (0.7～1.0)
シリンダーヘッド締め付けトルク (kg・cm)			※2	←	←
インテークマニホールド締め付けトルク (kg・cm)			195	←	←
エキゾーストマニホールド締め付けトルク (kg・cm)			425	←	440
ラジエーターキャップ開弁圧 (kg/cm²)	基準値		0.75～1.05	←	←
	限度		0.6	←	←

※1. 白金プラグ使用のため点検、調整不要

※2. 塑性域締め付けのため点検不要

シャシー関係 1/2

項目		車両型式	E-ST180・181・182・183系
ステアリングホイールの遊び 〔ステアリングホイール外周にて〕 (P/S付きは油圧作動時)		(mm)	0～30
フロントホイール アライメント	サイドスリップ 〔1mにつき〕	(mm)	0～3
	トーイン点検基準値	(mm)	0±2
	キャンバー点検基準値	(度)	0°00'±45'
	キャスター点検基準値	(度)	1°00'±45'
	キングピンングアングル 点検基準値	(度)	14°00'±45'
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値	(mm)	5±2(2WS) 2±2(4WS)
	キャンバー点検基準値	(度)	—(2WS) -45'±30'(4WS)
フロントホイール 左右回転角度	内側	(度)	36°10'±2°
	外側(参考)	(度)	31°10'
リヤホイール 左右回転角度	内側・外側	(度)	5°±45'(4WS)
ブレーキペダル (mm)	高さ 〔フロアパネル上面より〕		157～167 (M/T) 159.4～169.4 (A/T)
	遊び 〔負圧なしの状態〕		3～6
	踏み残りしろ〔踏力50kg〕 〔エンジンONの状態〕		80以上
パーキングブレー キレバー引きしろ (ノッチ数)	センターレバー式 〔操作力20kg〕		4～7
パーキングブレーキライニング の厚さ (mm)	基準値		2.0
	限度		1.0
ブレーキドラムの内径 ()内はパーキングブレーキ用 (mm)	基準値		200.0 (170.0)
	限度		201.0 (171.0)
リヤドラムブレーキライニング の厚さ (mm)	基準値		4.0
	限度		1.0

シャシー関係 2/2

項目		車両型式	E-ST180・181・182・183
ディスクブレーキパッドの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	10
		限 度	1
	後 輪	基 準 値	10
		限 度	1
ディスクブレーキローターの厚さ (mm)	前 輪	基 準 値	18(3S-FE) 22(3S-FE以外)
		限 度	16(3S-FE) 20(3S-FE以外)
	後 輪	基 準 値	10
		限 度	9
ディスクの振れ限度 〔外周より10mm内〕 (mm)			0.07(フロント) 0.15(リヤ)
ブレーキの効き具合			下記参照
クラッチペダル (mm)	高 さ 〔フロアパネル上面より〕		163.4～173.4
	遊 び 〔ペダル上にて〕		5～15
	切れ残りストローク		25以上
ホイールベアリングがた (mm)	フロント 〔ハブ軸方向の動き量〕		0.05
	リ ヤ 〔シャフト軸方向の動き量〕		0.05
タイヤ残り溝 (mm)			1.6まで
ホイールナットの締め付けトルク (kg・cm)			1050
タイヤ空気圧			7/7 参照

ブレーキの効き具合（踏力90kg時）

制 動 力						
エンジン型式			4S-Fi		3S-FE 3S-GE	
					ABSなし	ABS付き
各 輪	左 右 和	前 輪	軸重の60%以上			
		後 輪	250kg以上	250kg以上	225kg以上	
	左 右 差		軸重の80%以下			
	総 和		730kg以上	790kg以上	765kg以上	
または制動停止距離 初速50km/h時15m以内						

(参考) 整備後の制動力…ブレーキシュアー、パッド交換後摺り合わせを10回(初速50km/h減速度0.2～0.3G)程度行った後の値				
車両型式			ST182・183	
			ST180・181	
			ABSなし	ABS付き
後 輪			250kg以上	225kg以上
総 和			730kg以上	765kg以上

タイヤ空気圧（一般と高速は同一）

タイヤサイズ \ 空気圧 (kg/cm ²)	前 輪	後 輪
165SR13	2.1	1.9
185/70R13 85S	2.0	1.9
185/65R14 85S	2.1	1.9
195/60R14 85H	2.1	1.9

4 定期点検作業要領

4S-Fi, 3S-FE, 3S-GE

1 減速時排気ガス減少装置の機能 ダッシュポット装置

4S-Fi

- エンジン暖機後，エンジン回転を3500rpmに保持しスロットルバルブを閉じた時，0.5～3秒でアイドル回転に戻ることを確認する。

フェールカット装置

4S-Fi

- エンジン暖機後，フューエルインレットホースに指をあてて，エンジン回転を3500rpm以上まで上げ，スロットルレバーを戻した時，インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

3S-FE, 3S-GE

- エンジン暖機後，インジェクターに指をあてて，エンジン回転を3500rpm以上まで上げ，スロットルレバーを戻した時，インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。